



奄美市SDGs推進プラットフォーム

宇宿貝塚史跡公園 リニューアル SDGs加速化事業



宇宿貝塚史跡公園リニューアルによるSDGs加速化事業

自治体の紹介 背景

奄美市の基本情報

世帯数:19,417世帯 総人口:39,786人

面積:308.33Km²

地理条件:鹿児島県本土から南西380kmに位置する外海離島

(地域資源)

多様な自然環境を有し、世界的に独特で重要な絶滅危惧種や固有種の生息・生育地となっていることが世界的に認められ、令和3年7月26日に世界自然遺産へ登録された。



現状の課題

(課題)

- 1.観光資源の掘り起こし、観光コンテンツの充実、所得の向上、観光客の満足度向上、遺産地域への環境負荷
- 2.次世代の担い手に対する環境文化の継承及び地域の魅力・歴史的価値の認識不足
- 3.歴史・文化・自然の学習機会の提供や情報発信不足、自然環境の保全及びカーボンニュートラルの推進



SDGsの理念を導入し
課題解決を図りたい

宇宿貝塚史跡公園リニューアルによるSDGs加速化事業

事業の 目的

サステナブルな縄文時代の生活様式を今に伝える「宇宿貝塚史跡公園」において自然・動植物とそこに暮らす人々が共存共生し、環境に負荷をかけない『縄文生活』世界に誇る自然環境・生物多様性と歴史が共に歩み、新しい価値を創造する『環境文化』を同時に学び、情報発信するなど、SDGsの拠点として普及啓発を図るとともに、観光・教育・環境拠点施設としても活用し相乗効果を目指す。

事業 内容



縄文時代の奄美の生活を
コンテンツ化すれば、
そのままSDGs教育になる

- ・「宇宿貝塚史跡公園」のリニューアルを図り、SDGsの拠点として位置づけると共に観光・教育・環境の拠点施設を目指しリニューアル整備を行う。
- ・SDGsプラットフォームの活動拠点として、SDGsの推進に向けたプラットフォームの運営を行う。



宇宿貝塚史跡公園リニューアルによるSDGs加速化事業

得られる
成果等

- 奄美市SDGs推進プラットフォームの運営による
「ローカルSDGsの加速化」
- 世界が認めた自然共生に基づく
「奄美大島観光ブランドの構築」
- 奄美の魅力を引き出し「地域の担い手確保」
- 縄文時代から育まれた自然観に基づく
「環境文化の継承と発信」
- 島内外の地域資源を最大限に活用した
「地域循環共生圏の構築」

本プロジェクトの推進体制



寄附企業様の
財政的支援

寄附を
する
メリット
等

100万円以上の寄付
をいただきましたら

- ・感謝状贈呈式の開催
- ・対象施設等に寄附企業の銘板の設置
- ・奄美市SDGs推進パートナーとして登録し、本市SDGsの推進に貢献したことを強力にPR
- ・本プロジェクトへの参画を官民連携で実現

ご連絡先

奄美市総務部プロジェクト推進課官民連携推進室
TEL : 0997-69-3186 Mail:ppp@city.amami.lg.jp



奄美市SDGsサイト